

四賀ガルテナーの楽しみ

ガルテンで何してん!?

何にでもチャレンジする！
面白いね、飽きないね。

緑ガ丘クラインガルテン 207号

上野千代松さん・智江子さん夫妻

静岡県掛川市から、夫婦仲良く四賀に通う上野千代松さん(69)・智江子さん(70)夫妻は、3年目の緑ガ丘ガルテナーです。冬は2人揃ってスキーを楽しみ、「雪が降っても楽しいね〜」

と、ガルテナーの姿が少なくなる冬のシーズンにも、元気に活動しています。自宅からガルテンまでは車で約4時間。「数えてみたら、去年は1年を通して1カ月平均20日ずつ滞在し

ていたことがわかった。こっち(四賀)へ来るとホッとするもんね、俺」と、ここでの生活にすっかりはまっている千代松さん。智江子さんは「掛川の家に帰るとすぐに『もう(四賀に)行くか?』なんて聞くものだから『何しに帰ってきたの?』って…」と顔を見合わせて笑います。

共に山形県出身。「四賀は空気もきれいだし、風が少ないからあまり寒さも感じない」と信州の寒さも何のその。マーマレードやおこわも圧力釜で作るといふ料理好きな千代松さんですが「こつこつ生活は、やはり奥さんも好きな夫婦が

長続きするね」と話します。掛川市には息子夫婦と3人の孫たちが暮らし、あてにし過ぎない、いい距離感を保ちつつ2人で元気にクラインガルテンライフを満喫しています。

今年にはブロッコリー、サヤインゲン、赤いレタスなどの野菜苗を、種の発芽からチャレンジし、気温に気をつかって、車で

移動する間も大事に持ち運んでいます。

「信州に来てから野沢菜漬けを教えてもらって、やっと自分たちの味になった」地元のお母さんに「おやぎ」のことを聞いたら「教えてやるから、あんた覚えなさい」なんて、こんなことが嬉しくてすべしやってみるんです」と智江子さん。「採れすぎた野菜を醤油と砂糖と酢で即席漬けにする方法とか、本当に色々なことを教わって楽しい」「トマトはソースにして全て活用するの。買ったものより味があっておいしいからね」。

「聞いたことは何でも挑戦する」がモットーの夫妻。こつこつと食生活の幅を広げて、美味しいものが増えていきます。

地元四賀の「お船まつり」や「三九郎(正月のどんと焼き)」など信州の素朴なお祭りも大好きだという上野さん夫妻は、とにかく人が集まることが大好きという2人。今年も春耕の季節が来ると、上野さんの庭から「お茶だよ〜」と周りのガルテナーに呼びかける智江子さんのよく通る声、そしてその庭で集うガルテナー達の賑やかな話し声が、今にも聞こえてきそうです。

「ここに来るとホッとするもんね、俺」
「飽きないわねえ。色んなこと教わるから」

